

# 専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

講座の名称	医療経営士養成プログラム													
実施方法	① 通学 ( 昼間 ・ 夜間 ・ 土日 ) ② 通信 スクーリング(回数 回)													
指定講座番号	7	1	0	1	6	—	2	0	1	0	0	1	—	5
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金対象講座の指定期間				過去一年の講座実績	入講者数( 27人)				修了者数 ( 27人)				
	平成30年 4月 1日				令和5年 3月 31日まで									
訓練期間	12ヶ月					総訓練時間				120時間				
1. 教育訓練目標														
①取得目標とする資格の名称、目標レベル						<input type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 ( ) <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 ( ) <input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム ( ) <input type="checkbox"/> 専門職大学院 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム ( ) <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 ( ) <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座 ( ) <input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 ( ) 教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等								
②①に係る資格・試験等の実施機関名称						朝日大学								
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等						このプログラムが提供する授業へ120時間以上参加するとともに総合演習で実施する修了判定試験に合格すること。								
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況						病院・診療所などの医療機関経営に関する基礎知識、倫理／モラル（医療経営士3級合格程度） 医師、看護師等の医療職員、病院事務職員、行政職員、その他医療に関連する企業での職務において、医療機関が抱える様々な経営課題を迅速に解決するための知識・能力が期待される。								
2. 教育訓練の内容														
教科 (カリキュラム)						時間		使用教材名						
医療制度と医療経済						12		・医療経営士テキスト 初級シリーズ(全8巻)  ・担当講師によるレジュメ  ほか						
医療経営の仕組み						4								
医事管理						6								
経営組織管理						6								
経営戦略						6								
患者管理・環境管理						6								
医療の質、安全管理						6								
人事労務管理						8								
物品物流管理						4								
財務管理						12								
情報管理						4								
介護分野との連携						4								
障害福祉サービス						4								
接遇力向上						4								
若手社員のキャリア形成						4								
フィールドワーク						30								
総合演習						10								
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)														
①受講するに当たって必要な実務経験等						医療機関、医療に関連する企業での勤務経験があることが望ましいが、初めて医療経営を学ぶ者にも受講を認める。								
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準						学校教育法第90条に規定する大学へ入学することができる者								
③その他														
〔特記事項〕														

# 専門実践教育訓練明示書

## 4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

### (1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	27	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	27	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	27	人	受験率(③/②)	100.0	%
④ ③のうち合格者数	27	人	合格率(④/③)	100.0	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	0	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	27	人			

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含まない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

### (2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	18	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	16			
	2 非正社員、派遣社員	1	人		
	3 その他の就業(自営業等)	1	人		
	4 非就業		人	②B: 非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	1	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる		人		
	3 社内外の評価が高まる	1	人		
	4 円滑な転職に役立つ		人		
	5 趣味・教養に役立つ	8	人		
	6 その他の効果	6	人		
	7 特に効果はない		人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる		人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 希望の職種・業界で就職できる		人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる		人		
	4 趣味・教養に役立つ		人		
	5 その他の効果		人		
	6 特に効果はない		人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した		人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した		人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した		人		
	4 就職していない		人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	7	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	
	2 おおむね満足	8	人		
	3 どちらとも言えない	3	人		
	4 やや不満		人		
	5 大いに不満		人		

(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)

受講の成果として、医療経営士3級認定試験合格5名、職場での昇任・昇格等のキャリアアップ、希望職種へのキャリアチェンジなどが報告されている。

## 5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムの進行に応じたミニテスト(筆記試験)を実施し、習得度の判定を行う。</li> <li>・筆記試験の成績等から総合的に判断する。</li> </ul>
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	

